

# 令和4年度 県立和歌山工業高等学校 全日制 学校経営方針



WAKO PRIDE  
和工 プライド

輝かしい伝統を持つ和工は、生徒・教職員が誇りをもち続けられる学校であるために、質の高い教育の提供に努力していきます

## 校訓 「質実剛健」 素直に 誠実に たくましく生きる力を育成

### 教育方針

- 個性を尊重し、適性を十分に伸ばすことに重点をおき、職業人としての資質・能力を備えた生徒を育成する。
- 基本的な生活習慣を備え、社会的意義や役割を含め、集団生活に適応できる生徒を育成する。
- 豊かな人間性を育み、勤労を尊重する精神を高揚する。

### めざす生徒像

### 地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育てる

挑戦 Challenge

高い志とグローバルな視野を持って、夢に向かって挑戦していく生徒

創造 Create

「ものづくり」に、意欲的に粘り強く取り組んでいく生徒

協働 Cooperate

礼節を重んじ、多様な人と同じ目標に向かって協力していく生徒

### めざす学校像 ～3つの基本姿勢～

#### 生徒が輝く学校

「なぜ」「どうして」と考えることを楽しみ、  
探究し表現することを大切に  
した教育実践に取り組む

#### 教師が夢を語れる学校

多様性を認め、一人一人の声を  
尊重できる教職員集団を確立する

#### 地域とともにある学校

コミュニティ・スクールとして  
専門性を生かした地域貢献に取り組む

### 魅力ある工業高校

生徒にとって  
保護者にとって

地域住民にとって  
教職員にとって

## 本年度の重点目標

- 1 生徒に向上心を持たせたり主体的に活動させたりする場面のある授業づくりを推進するとともに、キャリア教育の一層の充実を図る。
- 2 工業高校の専門性を生かした資格取得や地域貢献活動を積極的に推進することで、職業人として必要な資質・能力を育む。
- 3 部活動や自主活動の一層の振興を図ることで、職業人として必要な豊かな人間性を育む。

## 各学科の目標と指導の力点

### 建築科

〈目標〉 建築に関する設計技術・施工技術の基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、建築技術者としての専門的技術の向上と必要な能力を育てる。

〈指導の力点〉

- 建築に関係する資格、技能検定2級・3級や建築CAD検定準1級の合格を目指す。
- 伝統的な職人技術に多く触れさせ、技術の継承に努める。また、木造軸組構造物の製作や土壁を施す学習を取り入れることで伝統的な建築物の素晴らしさを学習させる。
- 課題研究発表会を通して、プレゼンテーション能力の向上を目指す。

### 機械科

〈目標〉 将来、機械の技術者を目指すために総合的な知識や技術を身につけ、「ものづくり」の機能性、安全性、利便性を高められる人材を育成する。

〈指導の力点〉

- 「ものづくり」に対する基礎・基本の習得に重点をおき、知識と創造力を養い、自己の技術力を向上させる。
- 作業現場での安全を重視し、工作機械を十分把握させた上で、精密な機械部品の切削や加工を成し遂げ、将来の技術者として専門的能力を発揮できる人材を育てる。
- 機械製図検定やガス溶接技能検定など専門的な資格を取得させ、将来のリーダー育成を目指す。

### 電気科

〈目標〉 電気技術者としての安全教育の高揚を図るとともに、専門的な知識、技術の基礎・基本を身に付け、次代に適応できる産業人を育成する。また、安心・安全を徹底し、技術的諸問題も意欲的に解決できる人材を育成する。

〈指導の力点〉

- 社会に不可欠なライフラインに関わる学科であり、それらの知識と技術が社会貢献につながっていくことを認識させる。
- 電力技術、電気機器、電子回路等を学習することで、社会に必要な電気の知識を学び、実習や製図で培った配線、測定等の電気技術を習得させる。
- 課題研究で個々が作製した作品を発表し、『ものづくり』の意義を理解し、技術向上を図る。

## 土木科

〈目標〉 土木技術者は人々の生命と暮らしを守る重大な使命を担っていることを理解し、そのために必要な専門的な知識と技術を身につけた人材を育成する。

〈指導の力点〉

- 土木構造物建設の基礎となる測量技術を習得し、測量士補試験の取得を目指す。
- 土木施工技術の見学や実習を通して技術を身につけ、2級土木施工管理技術検定学科試験の取得を目指す。
- 測量や橋梁模型製作等の各種コンテスト、大会へ参加し、専門的な技術力の向上をすすめる。

## 創造技術科

〈目標〉 コンピュータ技術の発展にともなった3D技術やCAD/CAMを取り入れた加工技術と、ものに動きを与える電子回路や情報・制御技術を中心に「ものづくり」に関する一貫した技術・技能の向上を図り、創造力豊かな人材を育成する。

〈指導の力点〉

- 「ものづくり」のスペシャリストとして必要とされる知識・技能の基礎・基本をしっかりと身につけさせる。
- 実習の時間を多く取り、体験型・課題解決型の学習をすすめる。
- 社会のニーズに応える教育プログラムを実践するとともに、幅広い職業資格の取得を目指す。

## 化学技術科

〈目標〉 化学物質や反応の基礎理論を学習させ、製造・分析技術等に生かせる幅広い知識と技術を習得させる。また、資源の有効利用やリサイクル技術に精通した地球に優しいものづくりが実践できる人材を育成する。

〈指導の力点〉

- 化学に関する重要資格である乙種4類危険物取扱者をはじめ、二級ボイラー技士等、化学会社で必要とされる多種多様な資格取得を目指す。
- 実習・課題研究における多様な発言機会を通じて、コミュニケーション能力の向上に取り組む。
- 実験・実習を通して、循環型社会に対応できる能力を養う。

## 産業デザイン科

〈目標〉 創造力豊かに活躍できる技術者の育成を目指し、工業技術者として幅広い知識・技術の習得はもとより、さまざまな場面において意欲的、主体的に問題解決に取り組んでいける感性豊かな人材を育成する。

〈指導の力点〉

- 次代の産業を担う中堅技術者として必要とされるデザイン力を生かしたものづくりを通して、専門的な知識・技能の基礎・基本を確実に身につけさせる。
- 最先端の3Dプリンターやレーザー加工機等を用いたさまざまな造形技術を習得させるとともに、ものづくりの基本となる金属加工等の手作業を通し、安全作業の基本について徹底的に習得させる。
- 地域社会との連携をより一層深め、工業教育を通し社会に貢献できる活動を積極的に進める。